

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらら館ひろき		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 28日		～ 令和 8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○事業所向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち一人ひとりに合った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢だけでなく、子ども一人ひとりの発達段階に応じたグループ編成を行っています。 ・小集団での活動に加え、個別療育の時間を設ける等、個々の特性に応じた支援を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事や活動内容に応じて全体活動や少人数での活動を組み合わせる等、より一人ひとりが安心して力を発揮できる環境づくりを行っています。
2	親子活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で一緒に活動する機会を設け、子どもへの声かけやかかわり方を実践的に共有しています。 ・子どもたちの様子を見ていただく機会として療育参観日を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けに希望する活動内容のアンケートを実施し、ニーズに応じた活動の充実を図っています。
3	体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設での過ごし方やマナーを学ぶ機会として、公園での活動や外出活動を実施しています。 ・年長児については公共交通機関を利用した外出活動も行い、社会体験の機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会体験活動として、公共施設や公共交通機関を活用し、実生活につながる経験を積む機会を大切にしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園に送迎を行っているおさまの保護者の方と直接会って話をする機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡アプリにて活動の様子をお伝えしているものの、保育園へ送迎を行っている児童の保護者とは直接お会いして話す機会が限られている状況がある。 ・家庭によって親子活動等への参加に差が見られることも要因の一つと考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回の面談に加え、親子活動や療育参観日等の機会を活用し、直接情報交換ができる機会を増やしていきます。また、参加しやすい環境づくりについても検討していきます。
2	地域との交流や連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に向けた情報発信や交流の機会が十分とはいえず、地域とのつながりを広げる体制づくりが課題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人のイベント等を通して地域への発信を行うとともに、児童館や法人内保育園との連携活動等、地域との交流機会を計画的に設けていきます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					
きらら館ひろき		令和8年2月26日					
		利用児童数 15名				回収数 12名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	0		・基準を満たしたスペースを確保しておりますが、活動内容に応じて環境設定を工夫し、より安心して過ごせる空間づくりに努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	1		・基準を満たし、適切な職員配置を行っております。契約時や年度初め、保護者会等の機会を通して、より分かりやすく説明できるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		・子どもの段階を考慮した上で、行動のしやすさ、分かりやすさに繋がるよう1階・2階で環境を区切り、視覚支援を取り入れたりと、個々の段階や状況に適した配慮を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごせることができるよう引き続き配慮を行ってまいります。
適切 な支 援の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	・ST、PT、OTの訪問頻度を上げてほしい。	・現在、言語聴覚士（ST）が月2回訪問し、助産を受けながら支援を行っております。訪問頻度の増加や時間的余裕の確保を目指していますが、関係機関との連携や職員研修を通して専門性の向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		・今後も公表している支援プログラムと実際の支援内容の整合性を大いにし、分かりやすい情報発信に努めてまいります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		・引き続き、お子さまや保護者の方のニーズを丁寧に把握し、根拠に基づいた個別支援計画の作成に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、必要な支援内容を適切に選択、設定してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		・児童発達支援計画に基づき支援を行っております。今後も日々の支援内容がより分かりやすく伝わるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		・子どもが楽しみながら様々な経験を積むことができるよう、多様な活動内容を工夫し、固定化しないプログラムを実施しています。また、個々の発達段階に応じた活動内容の充実を図ってまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	0	0	0		・今後も地域とのつながりを大切にし、多様な経験の機会を提供できるよう努めてまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		・今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		・児童発達支援計画をもとに、引き続き丁寧な説明と共有に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	0	0		・親子行事等の機会を通して、かかわりや声かけについて共有する場を設けております。今後は、より分かりやすい形で情報提供や学びの機会を充実させてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		・日頃からお子さまの様子を丁寧に共有し、保護者の皆さまとの共通理解を大切にしています。今後も継続して丁寧な情報共有に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		・定期的な面談や日々のやりとりを通して支援を行っています。今後も保護者の皆さまに寄り添った助言や支援に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		・共感的なかわり合いを大切にし、安心してご相談いただける関係づくりに努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	0	0	・家族への支援は十分に受けています。 ・きょうだいへの支援は、イベント開催や交流の機会はないため、どちらとも言えません。	・保護者会等を通して交流の場を設けていますが、より分かりやすい周知や参加しやすい工夫が必要であると考えています。きょうだいへの支援についても今後検討してまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0		・相談体制を整備し、迅速かつ丁寧な対応を心がけています。今後も安心してご相談いただける体制づくりに努めてまいります。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		・コドモンで活動の様子を写真で共有し、ご家庭での活動の様子も共有できるよう配慮しています。また、親子活動等を通して、子どもと保護者のかわりややりとりを促進する機会を設けています。今後も意思の疎通が深まるよう工夫してまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	0	0		・行事予定や日々の活動の様子についてはコドモンで発信しています。また、自己評価の結果についてもホームページで公表しています。今後、より分かりやすい周知方法を工夫し、情報の周知に努めてまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		・個人情報の取扱いについては十分に留意し、適切に管理しています。今後も職員間で意識を共有し、適切な取扱いに努めてまいります。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	0	0		・各種マニュアルを策定し、訓練を実施していますが、保護者の皆さまへの周知が十分でなかったと反省しております。現在は定期的に研修プログラムを設置し、いつでも確認できる環境を整えています。今後も分かりやすい周知に努めてまいります。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	1	・非常災害の発生に備え、年4回、火災、地震、土砂災害等を想定した避難訓練を実施しています。訓練時の様子についてはコドモンで撮影しています。今後も継続して実施するとともに、開始に努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	・子どもの安全確保を最優先に、計画の策定及び安全管理を行っています。今後も安全に配慮した支援の徹底に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	2	・事故等が発生したことがないので、不明です。毎日安全を見守っていただき、ありがとうございます。 ・事故が発生しないよう、日々安全に配慮した支援を行っています。万が一事故が発生した際には、速やかに連絡し、状況を丁寧に説明する体制を整えています。今後も安全管理の徹底に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	・子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを大切に、日々のかかわりを行っています。今後も一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して通所できる環境を整えてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	・活動が楽しかった時は自分から何を話しかけてくれます。きらら館からの写真を見せると、動作をしながらどうやって遊んだか伝えてくれます。 ・子どもたちが『楽しい』と感じられる活動やかかわりを大切にしています。今後も成長につながる体験を通して、通所を楽しみにしてもらえよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	・日に日に学んで成長してくれているのを感じています。日々の支援ありがとうございます。 ・子ども達はきらら館がとても好きようです。 ・子どもも親もとても満足しています。 ・今後も子ども一人ひとりに応じた丁寧な支援を行い、満足いただける支援の提供に努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	きらら館ひろき		公表日 令和8年2月26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用人数に対して、十分なスペースを確保し、支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・職員数においては、配置基準を十分に満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮しています。 ・写真やイラスト等の視覚的支援教材を用いながら伝えたり、パーテーションを使用して環境を区切ったりする等、子どもが活動に集中できるよう、配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・館内の清掃、整理整頓を行い、清潔な環境づくりに心掛けています。	・訓練室内に物品を置いている箇所があるため、保管場所の見直しや整理整頓を行い、より安全で活動しやすい環境づくりに努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・部屋は一室のみですが、パーテーションで空間を区切る等環境を調整し、子どもの状態に応じて落ち着いて過ごせる場所を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・業務や支援内容について目標や振り返りを行い、その都度見直しを実施しています。また、改善点を共有し、その後の業務や支援につながるよう情報交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者等向け評価表を実施し、いただいたご意見をもとに業務改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・職員会議やケース検討の場で意見を出し合い、職員全体で共有しながら業務改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・第三者による外部評価は現在実施できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・子どもたちの課題解決や支援の質の向上につながるよう、専門研修や外部研修への参加機会を設けています。また、子どもの様子や職員の課題に応じた研修内容を検討し、実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・昨年2月にホームページにて公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・アセスメントを実施し、子どもの様子や課題、保護者のニーズを踏まえた上で、児童発達支援計画の作成をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・アセスメントで把握した子どもの様子や保護者のニーズを職員間で共有し、支援内容について検討した上で計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・利用開始前に児童発達支援計画について共有を行い、担当職員が内容を把握した上で、計画に沿った支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの発達段階や様子、課題の把握に努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援ガイドラインの各項目を踏まえ、職員間で意見を出し合いながら、児童発達支援計画の作成をしています。また、子どもの発達段階に応じた支援内容を検討しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・年間計画に沿って活動案を検討し、個々の発達段階に応じたプログラムを計画、実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・年間計画を基に、子どもの現状に応じて活動内容を考えている。また、全職員で案を出し合いながら活動案を立案し、固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・子どもの発達段階や課題に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・支援開始前に活動の目的や内容、役割分担について職員間で共有し、共通理解のもとで活動を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・支援終了後には職員間で振り返りを行い、子どもの様子や課題、気づいた点や改善点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・子どもの様子や課題、活動の目的に対する振り返りを行い、日々の記録を徹底しています。気づきや改善点については、ケース検討やミーティングで共有しています。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・児童発達支援計画の作成時期に合わせてモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や子ども担当職員が会議に参加し、事業所での様子や課題、目標等について説明しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・子どもに合ったかわり方や支援ができるよう、関係機関と連絡会等で情報交換を行い、必要に応じて連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の同意を得た上で、保育所や幼稚園、認定こども園と児童発達支援計画を共有し、情報交換を行っています。子どもの課題や目標を共有し、統一したかわり方ができるよう努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・連絡会や移行支援シートを活用し、支援内容や子どもの様子について情報共有を行っています。安心して就学できるよう支援に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・地区連絡会等に参加し、情報交換を行っています。事業所の取り組みや子どものかかわり方について共有し、必要に応じて助言を受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今年度は交流の機会が限られていました。今後は地域との交流の機会を検討し、活動を共有できる場を設ける等、交流機会の充実を図っていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・コトモノや送迎時、面談の機会を通して、子どもの様子や課題、目標等について相互に伝え合っています。必要に応じて写真を添付する等、具体的に子どもの様子が伝わるよう工夫しています。 ・親子活動の機会を通して、支援内容やかわり方について情報共有を行っています。	・子どもの成長や日々の様子、課題について直接お伝えする機会を十分に確保し、共通理解をより深めていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子活動の機会を通して、かわり方や声かけについて一緒に考えながら実践できる場を設けています。日々のかかわりの中で具体的な助言や共有を行い、家庭での支援につながるよう努めています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学時や契約時に、活動内容や利用者負担額について説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントの際に、保護者のニーズや子どもの様子を丁寧に聞き取り、意向を確認した上で児童発達支援計画に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者へ説明を行い、同意を得た上で支援を実施しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談や行事の機会を通して情報交換を行い、その都度助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会や行事を開催し、保護者同士が交流できる場を設けています。	・きょうだいへの支援については今後の課題として内容や方法を検討し、支援体制の充実に努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談があった際には、迅速かつ適切に内容を検討し、対応できるよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の活動予定表を作成し、活動内容や行事、お知らせ等を発信しています。	・Instagramの情報発信が十分とはいえない状況であったため、今後は投稿回数を増やし、継続的な情報発信に努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮しています。 ・ホームページやInstagram、パンフレット等への掲載については、事前に同意を得ています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思の疎通や情報伝達のために、視覚的支援を取り入れる等、伝わりやすく伝える工夫を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人イベントを開催し、地域住民を招く等、地域とのつながりを大切にしています。	・今後も地域とのつながりを大切にし、地域に開かれた事業運営を図っていきます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定するとともに、火災や地震等を想定した訓練を実施し、訓練内容や子どもの様子について保護者へ伝えています。		
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定するとともに、消防署立ち会い訓練を年2回、自主訓練を年2回、計年4回実施しています。訓練後は振り返りを行い、改善に努めています。		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・服薬についてはコードモンにて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況については保護者に確認し共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・保護者へ確認の上、医師からの指示書に基づき、除去食等の対応を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。また、実施後は改善点について話し合い、安全管理の向上に努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・子どもが安全に過ごすことができるよう、安全計画に基づく取組について保護者会等で周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・ヒヤリハット報告書を作成し、改善点についてケース検討を行い、職員間で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・外部講師を招いて事業所内での研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・身体拘束については行っていませんが、身体拘束に関するマニュアルを策定し、体制を整えています。	